

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号  
特許第7629886号  
(P7629886)

(45)発行日 令和7年2月14日(2025.2.14)

(24)登録日 令和7年2月5日(2025.2.5)

(51)国際特許分類 F I  
G 0 6 Q 50/34 (2012.01) G 0 6 Q 50/34

請求項の数 6 (全19頁)

(21)出願番号	特願2022-42913(P2022-42913)	(73)特許権者	000237639 富士通フロンテック株式会社 東京都稲城市矢野口1776番地
(22)出願日	令和4年3月17日(2022.3.17)	(74)代理人	110002918 弁理士法人扶桑国際特許事務所
(65)公開番号	特開2023-136958(P2023-136958 A)	(72)発明者	大槻 隼也 東京都稲城市矢野口1776番地 富士 通フロンテック株式会社内
(43)公開日	令和5年9月29日(2023.9.29)	審査官	佐藤 敬介
審査請求日	令和6年3月8日(2024.3.8)		

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 出走表表示装置、出走表表示プログラムおよび出走表表示方法

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

利用者が公営競技の投票をした複数の過去の投票の内容を記憶する記憶部と、  
前記複数の過去の投票それぞれにおいて投票された投票対象の、複数の投票ファクタに含まれる所定のファクタの値のばらつきを大きく示す指標値を算出し、前記指標値が第1閾値未満の場合、投票候補の前記複数の投票ファクタのうち前記所定のファクタの値を優先表示した出走表を生成する処理部と、  
を有する出走表表示装置。

【請求項2】

前記処理部は、前記指標値が第2閾値以上の場合、前記所定のファクタを表示対象から除外した前記出走表を生成する、  
請求項1記載の出走表表示装置。

【請求項3】

前記処理部は、前記指標値が第1閾値未満の場合、前記所定のファクタの値で前記投票候補をソートした前記出走表を生成する、  
請求項1記載の出走表表示装置。

【請求項4】

前記処理部は、前記投票対象の前記所定のファクタの値の平均値を算出し、前記平均値に基づいて、前記所定のファクタの値で前記投票候補を昇順ソートするか降順ソートするかを決定する、

請求項 3 記載の出走表表示装置。

【請求項 5】

コンピュータに、

利用者が公営競技の投票をした複数の過去投票それぞれにおいて投票された投票対象の、複数の投票ファクタに含まれる所定のファクタの値のばらつきの大きさを示す指標値を算出し、

前記指標値が第 1 閾値未満の場合、投票候補の前記複数の投票ファクタの値のうち前記所定のファクタの値を優先表示した出走表を生成する、

処理を実行させる出走表表示プログラム。

【請求項 6】

コンピュータが、

利用者が公営競技の投票をした複数の過去投票それぞれにおいて投票された投票対象の、複数の投票ファクタに含まれる所定のファクタの値のばらつきの大きさを示す指標値を算出し、

前記指標値が第 1 閾値未満の場合、投票候補の前記複数の投票ファクタの値のうち前記所定のファクタの値を優先表示した出走表を生成する、

出走表表示方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、出走表表示装置、出走表表示プログラムおよび出走表表示方法に関する。

【背景技術】

【0002】

競馬等の公営競技では、利用者は、出走表を見て競技の情報を確認し、投票先を決定する。例えば、競馬の出走表には、オッズ、馬の直近のレースの成績、騎手の勝率等の情報が一覧表示される。

【0003】

出走表に関する技術としては、例えば、レースに出場する複数のレース対象の人気を示す情報を提供する情報処理装置が提案されている。また、例えば、利用者ごとにカスタマイズされた競馬新聞が閲覧できるオンライン競馬新聞等の発行システムが提案されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【文献】特開 2016 - 71752 号公報

【文献】特開 2001 - 331611 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

公営競技の投票において、利用者ごとに投票先を決定するために確認する情報が異なることがある。出走表に投票する候補についての多くの情報が一覧表示されると、利用者の確認したい情報が見つらくなり、視認性が低下することがある。

【0006】

1 つの側面では、本件は、公営競技の情報の視認性を向上させることを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

1 つの案では、記憶部と処理部とを有する出走表表示装置が提供される。記憶部は、利用者が公営競技の投票をした複数の過去投票の内容を記憶する。処理部は、複数の過去投票それぞれにおいて投票された投票対象の、複数の投票ファクタに含まれる所定のファクタの値のばらつきの大きさを示す指標値を算出し、指標値が第 1 閾値未満の場合、投票候補の複数の投票ファクタの値のうち所定のファクタの値を優先表示した出走表を生成する。

10

20

30

40

50

## 【発明の効果】

## 【0008】

1態様によれば、公営競技の情報の視認性を向上させることができる。

## 【図面の簡単な説明】

## 【0009】

【図1】第1の実施の形態に係る出走表表示装置の一例を示す図である。

【図2】第2の実施の形態に係る投票システムの一例を示す図である。

【図3】ネット投票サーバのハードウェアの一構成例を示す図である。

【図4】ネット投票サーバの機能例を示すブロック図である。

【図5】レース情報の一例を示す図である。

10

【図6】投票履歴情報の一例を示す図である。

【図7】人気情報の一例を示す図である。

【図8】騎手勝率情報の一例を示す図である。

【図9】重視レベル基準値情報の一例を示す図である。

【図10】重視ファクタ情報の一例を示す図である。

【図11】ソート順基準値情報の一例を示す図である。

【図12】重視ファクタ特定処理の手順の一例を示すフローチャートである。

【図13】出走表表示処理の手順の一例を示すフローチャートである。

【図14】投票受付画面の一例を示す図である。

【図15】投票受付画面の他の一例を示す図である。

20

## 【発明を実施するための形態】

## 【0010】

以下、本実施の形態について図面を参照して説明する。なお各実施の形態は、矛盾のない範囲で複数の実施の形態を組み合わせる実施することができる。

## 〔第1の実施の形態〕

まず第1の実施の形態について説明する。

## 【0011】

図1は、第1の実施の形態に係る出走表表示装置の一例を示す図である。第1の実施の形態は、利用者の過去の投票に基づいて出走表を表示するものである。

出走表表示装置10は、出走表を表示するコンピュータである。出走表表示装置10は、例えば、公営競技のネット投票を受け付けるサーバコンピュータである。出走表表示装置10は、記憶部11と処理部12とを有する。出走表表示装置10における、記憶部11は、出走表表示装置10が実行する処理に用いられるデータを記憶する。記憶部11は、例えば、出走表表示装置10が有するメモリまたはストレージ装置である。記憶部11は、投票履歴11aを記憶する。投票履歴11aは、利用者が公営競技の投票をした複数の過去の投票の内容である。

30

## 【0012】

処理部12は、出走表表示装置10を制御し、所要の処理を実行可能である。処理部12は、例えば、出走表表示装置10が有するプロセッサまたは演算回路である。処理部12は、以下の指標値算出処理と、出走表生成処理とを実行する。

40

## 【0013】

指標値算出処理では、処理部12は、投票履歴11aを参照し、複数の過去の投票それぞれにおいて投票された投票対象の、複数の投票ファクタに含まれる所定のファクタの値を特定する。投票ファクタは、公営競技の投票時に公開されている、投票候補の特徴である。投票ファクタは、例えば、オッズ、騎手の勝率、直近のレースの成績、過去のベストタイム（持ち時計）等である。処理部12は、特定した所定のファクタの値のばらつきの大きさを示す指標値を算出する。指標値は、例えば、分散である。

## 【0014】

処理部12は、例えば、利用者が操作するユーザ端末から出走表の要求を受けたときに、出走表生成処理を実行する。出走表生成処理では、処理部12は、指標値算出処理で算

50

出した指標値に基づいて、出走表を生成する。処理部 12 は、指標値が第 1 閾値未満の場合、投票候補の複数の投票ファクタの値のうち所定のファクタの値を優先表示した出走表を生成する。例えば、処理部 12 は、投票候補の複数の投票ファクタそれぞれの値が表示された表において、左端に所定のファクタの値が配置された出走表を生成する。また、例えば、処理部 12 は、投票候補の複数の投票ファクタそれぞれの値が表示された表において、所定のファクタの値が強調表示された出走表を生成する。

#### 【0015】

また、処理部 12 は、指標値が第 2 閾値以上の場合、所定のファクタを表示対象から除外した出走表を生成する。なお第 2 閾値は、第 1 閾値と同じ値でもよいし第 1 閾値より大きい値でもよい。例えば、処理部 12 は、投票候補の複数の投票ファクタそれぞれの値が表示された表において、所定のファクタの値を非表示とした出走表を生成する。

10

#### 【0016】

そして、処理部 12 は、生成した出走表を表示する。例えば、処理部 12 は、出走表を要求したユーザ端末に生成した出走表を送信し、送信した出走表をユーザ端末に表示させる。

#### 【0017】

第 1 の実施の形態によれば、出走表表示装置 10 の記憶部 11 は、利用者が公営競技の投票をした複数の過去の投票の内容を記憶する。出走表表示装置 10 の処理部 12 は、複数の過去の投票それぞれにおいて投票された投票対象の、複数の投票ファクタに含まれる所定のファクタの値のばらつきを示す指標値を算出する。そして、処理部 12 は、指標値が第 1 閾値未満の場合、投票候補の複数の投票ファクタの値のうち所定のファクタの値を優先表示した出走表を生成する。

20

#### 【0018】

これにより、出走表表示装置 10 は、利用者が重視している投票ファクタの値が見やすい出走表を生成できる。よって、出走表表示装置 10 は、公営競技の情報の視認性を向上させることができる。

#### 【0019】

また、処理部 12 は、指標値が第 2 閾値以上の場合、所定のファクタを表示対象から除外した出走表を生成する。これにより、出走表表示装置 10 は、利用者が重視していない投票ファクタを出走表から取り除くことができる。

30

#### 【0020】

なお、処理部 12 は、指標値が第 1 閾値未満の場合、所定のファクタの値で投票候補をソートした出走表を生成してもよい。これにより、出走表表示装置 10 は、利用者が重視している投票ファクタの値を比較しやすくできる。

#### 【0021】

また、処理部 12 は、投票対象の所定のファクタの値の平均値を算出し、平均値に基づいて、所定のファクタの値で投票候補を昇順ソートするか降順ソートするかを決定してもよい。これにより、出走表表示装置 10 は、利用者が投票したい投票候補を出走表から見つけやすくすることができる。

#### 【0022】

〔第 2 の実施の形態〕

次に、第 2 の実施の形態について説明する。第 2 の実施の形態は、インターネットを介した競馬の投票（ネット投票）を提供するものである。

40

#### 【0023】

図 2 は、第 2 の実施の形態に係る投票システムの一例を示す図である。第 2 の実施の形態の投票システムでは、ユーザ端末 21 とネット投票サーバ 100 とがネットワーク 30 を介して接続されている。ネットワーク 30 は、例えば、インターネット等の広域ネットワークである。

#### 【0024】

ユーザ端末 21 は、競馬のネット投票をする利用者が操作するコンピュータである。ユ

50

ーザ端末 21 は、ネット投票をするレースの出走表をネット投票サーバ 100 に要求し、ネット投票サーバ 100 から取得した出走表を表示する。ユーザ端末 21 は、出走表から投票内容の入力を受け付け、受け付けた投票内容をネット投票サーバ 100 に送信する。

【0025】

ネット投票サーバ 100 は、競馬のネット投票を受け付けるサーバコンピュータである。ネット投票サーバ 100 は、ユーザ端末 21 から出走表の要求を受け付けると、利用者が過去に投票した馬の人気の分散および騎手勝率の分散を算出する。なお、分散は、ばらつきが大きいほど値が大きくなる指標値である。ネット投票サーバ 100 は、算出した分散に基づいて出走表を生成し、ユーザ端末 21 に送信する。そして、ネット投票サーバ 100 は、ユーザ端末 21 から取得した投票内容での投票を受け付ける。

10

【0026】

図 3 は、ネット投票サーバのハードウェアの一構成例を示す図である。ネット投票サーバ 100 は、プロセッサ 101 によって装置全体が制御されている。プロセッサ 101 には、バス 109 を介してメモリ 102 と複数の周辺機器が接続されている。プロセッサ 101 は、マルチプロセッサであってもよい。プロセッサ 101 は、例えば CPU (Central Processing Unit)、MPU (Micro Processing Unit)、または DSP (Digital Signal Processor) である。プロセッサ 101 がプログラムを実行することで実現する機能の少なくとも一部を、ASIC (Application Specific Integrated Circuit)、PLD (Programmable Logic Device) 等の電子回路で実現してもよい。

【0027】

20

メモリ 102 は、ネット投票サーバ 100 の主記憶装置として使用される。メモリ 102 には、プロセッサ 101 に実行させる OS (Operating System) のプログラムやアプリケーションプログラムの少なくとも一部が一時的に格納される。また、メモリ 102 には、プロセッサ 101 による処理に利用する各種データが格納される。メモリ 102 としては、例えば RAM (Random Access Memory) 等の揮発性の半導体記憶装置が使用される。

【0028】

バス 109 に接続されている周辺機器としては、ストレージ装置 103、GPU (Graphics Processing Unit) 104、入力インタフェース 105、光学ドライブ装置 106、機器接続インタフェース 107 およびネットワークインタフェース 108 がある。

30

【0029】

ストレージ装置 103 は、内蔵した記録媒体に対して、電氣的または磁氣的にデータの書き込みおよび読み出しを行う。ストレージ装置 103 は、コンピュータの補助記憶装置として使用される。ストレージ装置 103 には、OS のプログラム、アプリケーションプログラム、および各種データが格納される。なお、ストレージ装置 103 としては、例えば HDD (Hard Disk Drive) や SSD (Solid State Drive) を使用することができる。

【0030】

GPU 104 には、モニタ 31 が接続されている。GPU 104 は、プロセッサ 101 からの命令に従って、画像をモニタ 31 の画面に表示させる。モニタ 31 としては、有機 EL (Electro Luminescence) を用いた表示装置や液晶表示装置等がある。

40

【0031】

入力インタフェース 105 には、キーボード 32 とマウス 33 とが接続されている。入力インタフェース 105 は、キーボード 32 やマウス 33 から送られてくる信号をプロセッサ 101 に送信する。なお、マウス 33 は、ポインティングデバイスの一例であり、他のポインティングデバイスを使用することもできる。他のポインティングデバイスとしては、タッチパネル、タブレット、タッチパッド、トラックボール等がある。

【0032】

光学ドライブ装置 106 は、レーザ光等を利用して、光ディスク 34 に記録されたデータの読み取りを行う。光ディスク 34 は、光の反射によって読み取り可能なようにデータが記録された可搬型の記録媒体である。光ディスク 34 には、DVD (Digital Versatile

50

Disc)、DVD-RAM、CD-ROM (Compact Disc Read Only Memory)、CD-R (Recordable) / RW (ReWritable) 等がある。

#### 【0033】

機器接続インタフェース107は、ネット投票サーバ100に周辺機器を接続するための通信インタフェースである。例えば機器接続インタフェース107には、メモリ装置35やメモリリーダーライタ36を接続することができる。メモリ装置35は、機器接続インタフェース107との通信機能を搭載した記録媒体である。メモリリーダーライタ36は、メモリカード37へのデータの書き込み、またはメモリカード37からのデータの読み出しを行う装置である。メモリカード37は、カード型の記録媒体である。

#### 【0034】

ネットワークインタフェース108は、ネットワーク30に接続されている。ネットワークインタフェース108は、ネットワーク30を介して、他のコンピュータまたは通信機器との間でデータの送受信を行う。

#### 【0035】

ネット投票サーバ100は、上述のようなハードウェア構成によって、第2の実施の形態の処理機能を実現することができる。なお、第1の実施の形態に示した出走表表示装置10も、図3に示したネット投票サーバ100と同様のハードウェアにより実現することができる。また、ユーザ端末21もネット投票サーバ100と同様のハードウェアにより実現することができる。また、プロセッサ101は、第1の実施の形態に示した処理部12の一例である。また、メモリ102またはストレージ装置103は、第1の実施の形態に示した記憶部11の一例である。

#### 【0036】

ネット投票サーバ100は、例えばコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録されたプログラムを実行することにより、第2の実施の形態の処理機能を実現する。ネット投票サーバ100に実行させる処理内容を記述したプログラムは、様々な記録媒体に記録しておくことができる。例えば、ネット投票サーバ100に実行させるプログラムをストレージ装置103に格納しておくことができる。プロセッサ101は、ストレージ装置103内のプログラムの少なくとも一部をメモリ102にロードし、プログラムを実行する。またネット投票サーバ100に実行させるプログラムを、光ディスク34、メモリ装置35、メモリカード37等の可搬型記録媒体に記録しておくこともできる。可搬型記録媒体に格納されたプログラムは、例えばプロセッサ101からの制御により、ストレージ装置103にインストールされた後、実行可能となる。またプロセッサ101が、可搬型記録媒体から直接プログラムを読み出して実行することもできる。

#### 【0037】

次に、ネット投票サーバ100の機能について詳細に説明する。

図4は、ネット投票サーバの機能例を示すブロック図である。ネット投票サーバ100は、記憶部110、重視ファクタ特定部120および表示制御部130を有する。記憶部110は、メモリ102またはストレージ装置103の記憶領域を用いて実現される。重視ファクタ特定部120および表示制御部130は、メモリ102に記憶されたプログラムをプロセッサ101が実行することで実現される。

#### 【0038】

記憶部110は、レース情報111、投票履歴情報112、人気情報113、騎手勝率情報114、重視レベル基準値情報115、重視ファクタ情報116およびソート順基準値情報117を記憶する。レース情報111は、レースに出走する投票候補の馬の特徴を示す情報である。投票履歴情報112は、利用者ごとの過去に投票した内容の履歴を示す情報である。人気情報113は、利用者ごとの、過去に投票した馬の人気を示す情報である。

#### 【0039】

騎手勝率情報114は、利用者ごとの、過去に投票した馬に騎乗した騎手の勝率を示す情報である。重視レベル基準値情報115は、利用者が人気および騎手勝率を重視してい

10

20

30

40

50

る度合いを示す重視レベルを決定するための基準値を示す情報である。重視ファクタ情報 116 は、利用者ごとの、人気および騎手勝率の重視レベルを示す情報である。ソート順基準値情報 117 は、生成する出走表のソート順を決定するための基準値を示す情報である。

#### 【0040】

重視ファクタ特定部 120 は、一定期間ごとに利用者の重視するファクタを特定する。重視ファクタ特定部 120 は、利用者の所定回数のレースの投票履歴を投票履歴情報 112 から抽出する。重視ファクタ特定部 120 は、抽出した投票履歴の各レースで投票した馬の人気を特定する。重視ファクタ特定部 120 は、特定した人気の平均および分散を算出する。重視ファクタ特定部 120 は、人気の分散と重視レベル基準値情報 115 に設定された基準値を比較して人気の重視レベルを決定する。例えば、重視ファクタ特定部 120 は、人気の分散が小さければ人気の重視レベルを 3 に決定し、人気の分散が中程度であれば人気の重視レベルを 2 に決定し、人気の分散が大きければ人気の重視レベルを 1 に決定する。

10

#### 【0041】

また、重視ファクタ特定部 120 は、抽出した投票履歴の各レースで投票した馬の騎手の勝率を特定する。重視ファクタ特定部 120 は、特定した騎手の勝率の平均および分散を算出する。重視ファクタ特定部 120 は、騎手の勝率の分散と重視レベル基準値情報 115 に設定された基準値を比較して騎手勝率の重視レベルを決定する。例えば、重視ファクタ特定部 120 は、騎手勝率の分散が小さければ騎手勝率の重視レベルを 3 に決定し、騎手勝率の分散が中程度であれば騎手勝率の重視レベルを 2 に決定し、騎手勝率の分散が大きければ騎手勝率の重視レベルを 1 に決定する。重視ファクタ特定部 120 は、決定した人気および騎手勝率の重視レベルを重視ファクタ情報 116 に設定する。

20

#### 【0042】

表示制御部 130 は、ユーザ端末 21 からネット投票の要求があったときに、重視ファクタ特定部 120 によって決定された利用者の重視レベルに基づいた出走表を生成し、生成した出走表をユーザ端末 21 に表示させる。まず、表示制御部 130 は、ユーザ端末 21 から会員 ID とレースの選択を受け付ける。表示制御部 130 は、選択されたレースの出走表を生成する。例えば、表示制御部 130 は、選択されたレースの情報であるレース情報 111 の各項目の値を列挙した出走表を生成する。

30

#### 【0043】

表示制御部 130 は、重視ファクタ情報 116 を参照し、ユーザ端末 21 から受け付けた会員 ID に対応する利用者の人気および騎手勝率の重視レベルを特定する。利用者の騎手勝率の重視レベルが 1 である場合、騎手勝率を表示対象から除外する。例えば、表示制御部 130 は、生成された出走表から騎手勝率の項目を削除する。表示制御部 130 は、利用者の人気の重視レベルが 1 である場合、人気を表示対象から除外する。例えば、表示制御部 130 は、生成された出走表から人気の項目を削除する。

#### 【0044】

表示制御部 130 は、利用者の騎手勝率の重視レベルが 3 である場合、騎手勝率を優先表示する。例えば、表示制御部 130 は、生成された出走表において、騎手勝率の項目を左端に配置する。そして、表示制御部 130 は、騎手勝率の平均とソート順基準値情報 117 に設定された基準値を比較してソート順を決定し、騎手勝率でソートする。

40

#### 【0045】

表示制御部 130 は、利用者の人気の重視レベルが 3 である場合、人気を優先表示する。例えば、表示制御部 130 は、生成された出走表において、人気の項目を左端に配置する。そして、表示制御部 130 は、人気の平均とソート順基準値情報 117 に設定された基準値を比較してソート順を決定し、人気でソートする。表示制御部 130 は、生成した出走表をユーザ端末 21 に送信し、出走表の表示を指示する。

#### 【0046】

なお、図 4 に示した各要素間を接続する線は通信経路の一部を示すものであり、図示し

50

た通信経路以外の通信経路も設定可能である。次に、記憶部 110 に記憶される情報について詳細に説明する。

【0047】

図5は、レース情報の一例を示す図である。レース情報111は、レースに出走する投票候補の馬の特徴を示す情報である。レース情報111は、馬番、馬名、騎手名、オッズ(人気)、直近レース成績および騎手勝率の項目を有する。

【0048】

馬番の項目には、馬の馬番が設定される。馬名の項目には、馬の名前が設定される。騎手名の項目には、馬に騎乗する騎手の名前が設定される。オッズ(人気)の項目には、馬のオッズおよび何番人気であるかが設定される。直近レース成績の項目には、馬の前走、前々走および3走前のレースの着順、場名、開催日等の情報が設定される。騎手勝率の項目には、馬に騎乗する騎手の勝率が設定される。なお、レース情報111は、過去のベストタイム(持ち時計)等が設定される項目を有していてもよい。

10

【0049】

図6は、投票履歴情報の一例を示す図である。投票履歴情報112は、利用者ごとの過去に投票した内容の履歴を示す情報である。投票履歴情報112は、会員ID、日付、場名、レース、式別、組番および金額の項目を有する。

【0050】

会員IDの項目には、利用者の会員IDが設定される。日付の項目には、利用者が投票したレースが開催された日付が設定される。場名の項目には、利用者が投票したレースが開催された場名が設定される。レースの項目には、利用者が投票したレースのレース番号が設定される。式別の項目には、利用者が投票した式別が設定される。組番の項目には、利用者が投票した馬の組番が設定される。金額の項目には、利用者が投票した金額が設定される。

20

【0051】

図7は、人気情報の一例を示す図である。人気情報113は、利用者ごとの、過去に投票した馬の人気を示す情報である。人気情報113は、会員ID、人気、平均および分散の項目を有する。

【0052】

会員IDの項目には、利用者の会員IDが設定される。人気の項目は、1R~12Rの項目を有する。1R~12Rの項目それぞれには、直近の12レースで投票した馬が何番人気であったかが設定される。平均の項目には、利用者が過去に投票した馬の人気の平均(1R~12Rの項目に設定された値の平均)が設定される。分散の項目には、利用者が過去に投票した馬の人気の分散(1R~12Rの項目に設定された値の分散)が設定される。

30

【0053】

図8は、騎手勝率情報の一例を示す図である。騎手勝率情報114は、利用者ごとの、過去に投票した馬に騎乗した騎手の勝率を示す情報である。騎手勝率情報114は、会員ID、騎手勝率、平均および分散の項目を有する。

【0054】

会員IDの項目には、利用者の会員IDが設定される。騎手勝率の項目は、1R~12Rの項目を有する。1R~12Rの項目それぞれには、直近の12レースで投票した馬に騎乗した騎手の勝率がパーセンテージで設定される。平均の項目には、利用者が過去に投票した馬に騎乗した騎手の勝率の平均(1R~12Rの項目に設定された値の平均)が設定される。分散の項目には、利用者が過去に投票した馬に騎乗した騎手の勝率の分散(1R~12Rの項目に設定された値の分散)が設定される。

40

【0055】

図9は、重視レベル基準値情報の一例を示す図である。重視レベル基準値情報115は、重視レベルを決定するための基準値を示す情報である。重視レベル基準値情報115は、重視レベルおよび基準値の項目を有する。

50

## 【 0 0 5 6 】

重視レベルの項目には、重視レベルの値が設定される。基準値の項目は、人気および騎手勝率の項目を有する。人気の項目には、人気の重視レベルが、重視レベルの項目に設定された値に決定される分散の範囲が設定される。騎手勝率の項目には、騎手勝率の重視レベルが、重視レベルの項目に設定された値に決定される分散の範囲が設定される。

## 【 0 0 5 7 】

図 1 0 は、重視ファクタ情報の一例を示す図である。重視ファクタ情報 1 1 6 は、利用者ごとの、人気および騎手勝率の重視レベルを示す情報である。重視ファクタ情報 1 1 6 は、会員 I D および重視レベルの項目を有する。

## 【 0 0 5 8 】

会員 I D の項目には、利用者の会員 I D が設定される。重視レベルの項目は、人気および騎手勝率の項目を有する。人気の項目には、利用者の人気の重視レベルが設定される。騎手勝率の項目には、利用者の騎手勝率の重視レベルが設定される。

## 【 0 0 5 9 】

図 1 1 は、ソート順基準値情報の一例を示す図である。ソート順基準値情報 1 1 7 は、生成する出走表のソート順を決定するための基準値を示す情報である。ソート順基準値情報 1 1 7 は、ソート順および基準値の項目を有する。

## 【 0 0 6 0 】

ソート順の項目には、ソート順が設定される。基準値の項目は、人気および騎手勝率の項目を有する。人気の項目には、出走表を人気でソートする場合にソート順の項目に設定されたソート順に決定される平均値の範囲が設定される。騎手勝率の項目には、出走表を騎手勝率でソートする場合にソート順の項目に設定されたソート順に決定される平均値の範囲が設定される。

## 【 0 0 6 1 】

次に、ネット投票サーバ 1 0 0 が実行する処理について詳細に説明する。まず、重視ファクタ特定部 1 2 0 による重視ファクタ特定処理について説明する。重視ファクタ特定部 1 2 0 は、一定期間ごとに以下の重視ファクタ特定処理を実行する。

## 【 0 0 6 2 】

図 1 2 は、重視ファクタ特定処理の手順の一例を示すフローチャートである。以下、図 1 2 に示す処理をステップ番号に沿って説明する。

[ステップ S 1 1 ] 重視ファクタ特定部 1 2 0 は、未選択の会員 I D を選択する。

## 【 0 0 6 3 】

[ステップ S 1 2 ] 重視ファクタ特定部 1 2 0 は、ステップ S 1 1 で選択した会員 I D の利用者の所定回数（例えば、1 2 回）のレースの投票履歴を抽出する。例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、投票履歴情報 1 1 2 から、ステップ S 1 1 で選択した会員 I D が会員 I D の項目に設定されたレコードを、日付の項目に設定された日付が新しい順に 1 2 レース分抽出する。

## 【 0 0 6 4 】

[ステップ S 1 3 ] 重視ファクタ特定部 1 2 0 は、各レースで投票した馬の人気を特定する。例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、ステップ S 1 2 で投票履歴情報 1 1 2 から抽出したレコードの日付の項目に設定された日付と、場名の項目に設定された場名と、レースの項目に設定されたレース番号とで示されるレースの情報を取得する。そして、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、取得したレースの情報から、抽出したレコードの組番の項目に設定された組番の馬の人気を特定する。重視ファクタ特定部 1 2 0 は、人気情報 1 1 3 の、ステップ S 1 1 で選択した会員 I D が会員 I D の項目に設定されたレコードの、人気の項目の 1 R ~ 1 2 R の項目それぞれに、特定した人気を設定する。なお、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、1 つのレースで複数の投票がある流し買いがされている場合、軸とした馬の人気を特定してもよい。

## 【 0 0 6 5 】

[ステップ S 1 4 ] 重視ファクタ特定部 1 2 0 は、人気の平均および分散を算出する。

10

20

30

40

50

例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、人気情報 1 1 3 の、ステップ S 1 1 で選択した会員 ID が会員 ID の項目に設定されたレコードの、人気の項目の 1 R ~ 1 2 R の項目に設定された値の平均を算出し、算出した平均値を平均の項目に設定する。また、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、人気情報 1 1 3 の、ステップ S 1 1 で選択した会員 ID が会員 ID の項目に設定されたレコードの、人気の項目の 1 R ~ 1 2 R の項目に設定された値の分散を算出し、算出した分散を分散の項目に設定する。

【 0 0 6 6 】

[ ステップ S 1 5 ] 重視ファクタ特定部 1 2 0 は、人気の分散と重視レベル基準値情報 1 1 5 に設定された基準値を比較して人気の重視レベルを決定する。例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、ステップ S 1 4 で算出した分散が 2 未満である場合、重視レベルを 3 に決定する。また、例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、ステップ S 1 4 で算出した分散が 2 以上 5 未満である場合、重視レベルを 2 に決定する。また、例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、ステップ S 1 4 で算出した分散が 5 以上である場合、重視レベルを 1 に決定する。なお、ステップ S 1 5 の処理における人気は、第 1 の実施の形態に示した所定のファクタの一例であり、2 は第 1 閾値の一例であり、5 は第 2 閾値の一例である。

10

【 0 0 6 7 】

[ ステップ S 1 6 ] 重視ファクタ特定部 1 2 0 は、各レースで投票した馬の騎手の勝率を特定する。例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、ステップ S 1 3 で取得したレースの情報から、ステップ S 1 2 で抽出したレコードの組番の項目に設定された組番の馬の騎手の勝率を特定する。重視ファクタ特定部 1 2 0 は、騎手勝率情報 1 1 4 の、ステップ S 1 1 で選択した会員 ID が会員 ID の項目に設定されたレコードの、騎手勝率の項目の 1 R ~ 1 2 R の項目それぞれに、特定した騎手勝率を設定する。なお、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、1 つのレースで複数の投票がある流し買いがされている場合、軸とした馬の騎手の勝率を特定してもよい。

20

【 0 0 6 8 】

[ ステップ S 1 7 ] 重視ファクタ特定部 1 2 0 は、騎手勝率の平均および分散を算出する。例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、騎手勝率情報 1 1 4 の、ステップ S 1 1 で選択した会員 ID が会員 ID の項目に設定されたレコードの、騎手勝率の項目の 1 R ~ 1 2 R の項目に設定された値の平均を算出し、算出した平均値を平均の項目に設定する。また、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、騎手勝率情報 1 1 4 の、ステップ S 1 1 で選択した会員 ID が会員 ID の項目に設定されたレコードの、騎手勝率の項目の 1 R ~ 1 2 R の項目に設定された値の分散を算出し、算出した分散を分散の項目に設定する。

30

【 0 0 6 9 】

[ ステップ S 1 8 ] 重視ファクタ特定部 1 2 0 は、騎手勝率の分散と重視レベル基準値情報 1 1 5 に設定された基準値を比較して騎手勝率の重視レベルを決定する。例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、ステップ S 1 7 で算出した分散が 5 未満である場合、重視レベルを 3 に決定する。また、例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、ステップ S 1 7 で算出した分散が 5 以上 1 0 未満である場合、重視レベルを 2 に決定する。また、例えば、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、ステップ S 1 7 で算出した分散が 1 0 以上である場合、重視レベルを 1 に決定する。なお、ステップ S 1 8 の処理における騎手勝率は、第 1 の実施の形態に示した所定のファクタの一例であり、5 は第 1 閾値の一例であり、1 0 は第 2 閾値の一例である。

40

【 0 0 7 0 】

[ ステップ S 1 9 ] 重視ファクタ特定部 1 2 0 は、すべての会員 ID を選択したか否かを判定する。重視ファクタ特定部 1 2 0 は、すべての会員 ID を選択したと判定した場合、処理を終了する。また、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、すべての会員 ID を選択していないと判定した場合、処理をステップ S 1 1 に進める。

【 0 0 7 1 】

このように、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、利用者ごとに、過去に投票した馬の人気および騎手勝率の分散を算出し、算出した分散と基準値との比較結果に応じて馬の人気およ

50

び騎手勝率の重視レベルを決定する。ここで、利用者が馬の人気および騎手勝率のいずれかのファクタを重視していれば、当該ファクタが同程度の値となる馬に投票するため、当該ファクタの分散が小さくなる。

【 0 0 7 2 】

そこで、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、分散が小さければ重視レベルを 3 に決定し、分散が中程度であれば重視レベルを 2 に決定し、分散が大きければ重視レベルを 1 に決定する。これにより、重視ファクタ特定部 1 2 0 は、人気および騎手勝率それぞれについて、利用者が重視しているか否かを適切に判定することができる。

【 0 0 7 3 】

次に、表示制御部 1 3 0 による出走表表示処理について説明する。表示制御部 1 3 0 は、ユーザ端末 2 1 からネット投票の要求があったときに以下の出走表表示処理を実行する。

【 0 0 7 4 】

図 1 3 は、出走表表示処理の手順の一例を示すフローチャートである。以下、図 1 3 に示す処理をステップ番号に沿って説明する。

[ ステップ S 2 1 ] 表示制御部 1 3 0 は、ユーザ端末 2 1 から会員 ID とレースの選択を受け付ける。

【 0 0 7 5 】

[ ステップ S 2 2 ] 表示制御部 1 3 0 は、ステップ S 2 1 で選択されたレースの出走表を生成する。例えば、表示制御部 1 3 0 は、ステップ S 2 1 で選択されたレースの情報であるレース情報 1 1 1 の各項目の値を列挙した出走表を生成する。

【 0 0 7 6 】

[ ステップ S 2 3 ] 表示制御部 1 3 0 は、利用者の騎手勝率の重視レベルが 1 であるか否かを判定する。例えば、表示制御部 1 3 0 は、重視ファクタ情報 1 1 6 の会員 ID の項目にステップ S 2 1 で受け付けた会員 ID が設定されているレコードの、重視レベルの項目の騎手勝率の項目に 1 が設定されている場合、利用者の騎手勝率の重視レベルが 1 であると判定する。表示制御部 1 3 0 は、利用者の騎手勝率の重視レベルが 1 であると判定した場合、処理をステップ S 2 4 に進める。また、表示制御部 1 3 0 は、利用者の騎手勝率の重視レベルが 1 ではないと判定した場合、処理をステップ S 2 5 に進める。

【 0 0 7 7 】

[ ステップ S 2 4 ] 表示制御部 1 3 0 は、騎手勝率を表示対象から除外する。例えば、表示制御部 1 3 0 は、ステップ S 2 2 で生成された出走表から騎手勝率の項目を削除する。

【 0 0 7 8 】

[ ステップ S 2 5 ] 表示制御部 1 3 0 は、利用者の人気の重視レベルが 1 であるか否かを判定する。例えば、表示制御部 1 3 0 は、重視ファクタ情報 1 1 6 の会員 ID の項目にステップ S 2 1 で受け付けた会員 ID が設定されているレコードの、重視レベルの項目の人気の項目に 1 が設定されている場合、利用者の人気の重視レベルが 1 であると判定する。表示制御部 1 3 0 は、利用者の人気の重視レベルが 1 であると判定した場合、処理をステップ S 2 6 に進める。また、表示制御部 1 3 0 は、利用者の人気の重視レベルが 1 ではないと判定した場合、処理をステップ S 2 7 に進める。

【 0 0 7 9 】

[ ステップ S 2 6 ] 表示制御部 1 3 0 は、人気を表示対象から除外する。例えば、表示制御部 1 3 0 は、ステップ S 2 2 で生成された出走表から人気の項目を削除する。

[ ステップ S 2 7 ] 表示制御部 1 3 0 は、利用者の騎手勝率の重視レベルが 3 であるか否かを判定する。例えば、表示制御部 1 3 0 は、重視ファクタ情報 1 1 6 の会員 ID の項目にステップ S 2 1 で受け付けた会員 ID が設定されているレコードの、重視レベルの項目の騎手勝率の項目に 3 が設定されている場合、利用者の騎手勝率の重視レベルが 3 であると判定する。表示制御部 1 3 0 は、利用者の騎手勝率の重視レベルが 3 であると判定した場合、処理をステップ S 2 8 に進める。また、表示制御部 1 3 0 は、利用者の騎手勝率の重視レベルが 3 ではないと判定した場合、処理をステップ S 3 0 に進める。

【 0 0 8 0 】

10

20

30

40

50

[ステップS28]表示制御部130は、騎手勝率を優先表示する。例えば、表示制御部130は、ステップS22で生成された出走表において、騎手勝率の項目を、馬番、馬名、騎手名以外の項目のなかで左端に配置する。

【0081】

[ステップS29]表示制御部130は、騎手勝率の平均とソート順基準値情報117に設定された基準値を比較してソート順を決定し、騎手勝率でソートする。例えば、表示制御部130は、騎手勝率情報114のステップS21で受け付けた会員IDが会員IDの項目に設定されたレコードの、平均の項目に設定された平均値を参照する。表示制御部130は、参照した平均値が5未満である場合、ステップS22で生成した出走表を騎手勝率の項目の値の昇順でソートする。また、表示制御部130は、参照した平均値が10以上である場合、ステップS22で生成した出走表を騎手勝率の項目の値の降順でソートする。なお、表示制御部130は、参照した平均値が5以上10未満である場合、ソートしない。

10

【0082】

[ステップS30]表示制御部130は、利用者の人気の重視レベルが3であるか否かを判定する。例えば、表示制御部130は、重視ファクタ情報116の会員IDの項目にステップS21で受け付けた会員IDが設定されているレコードの、重視レベルの項目の人気の項目に3が設定されている場合、利用者の人気の重視レベルが3であると判定する。表示制御部130は、利用者の人気の重視レベルが3であると判定した場合、処理をステップS31に進める。また、表示制御部130は、利用者の人気の重視レベルが3ではないと判定した場合、処理をステップS33に進める。

20

【0083】

[ステップS31]表示制御部130は、人気を優先表示する。例えば、表示制御部130は、ステップS22で生成された出走表において、人気の項目を、馬番、馬名、騎手名以外の項目のなかで左端に配置する。

【0084】

[ステップS32]表示制御部130は、人気の平均とソート順基準値情報117に設定された基準値を比較してソート順を決定し、人気でソートする。例えば、表示制御部130は、人気情報113のステップS21で受け付けた会員IDが会員IDの項目に設定されたレコードの、平均の項目に設定された平均値を参照する。表示制御部130は、参照した平均値が3未満である場合、ステップS22で生成した出走表を人気の項目の値の昇順でソートする。また、表示制御部130は、参照した平均値が8以上である場合、ステップS22で生成した出走表を人気の項目の値の降順でソートする。なお、表示制御部130は、参照した平均値が3以上8未満である場合、ソートしない。

30

【0085】

[ステップS33]表示制御部130は、生成した出走表をユーザ端末21に送信し、出走表の表示を指示する。

なお、上記の例では、表示制御部130は、人気と騎手勝率の重視レベルが3である場合、人気でソートした出走表を生成するが、騎手勝率でソートした出走表を生成してもよいし、人気と騎手勝率のうち分散が小さい方でソートした出走表を生成してもよい。

40

【0086】

このようにして、表示制御部130は、人気の重視レベルが3の場合、人気を優先表示し、人気でソートした出走表を生成する。また、表示制御部130は、騎手勝率の重視レベルが3の場合、騎手勝率を優先表示し、騎手勝率でソートした出走表を生成する。

【0087】

これにより、表示制御部130は、利用者が重視している投票ファクタの値が見やすい出走表を生成できる。よって、表示制御部130は、公営競技の情報の視認性を向上させることができる。また、表示制御部130は、利用者が重視している投票ファクタでソートすることで、利用者が重視している投票ファクタの値を比較しやすくなる。

【0088】

50

また、表示制御部 130 は、人気の重視レベルが 1 の場合、人気を表示対象から除外した出走表を生成し、騎手勝率の重視レベルが 1 の場合、騎手勝率を表示対象から除外した出走表を生成する。これにより、表示制御部 130 は、利用者が重視していない投票ファクタを出走表から取り除き、出走表の視認性を向上させることができる。

【0089】

次に、ユーザ端末 21 に表示される出走表について説明する。

図 14 は、投票受付画面の一例を示す図である。投票受付画面 41 は、表示制御部 130 の指示でユーザ端末 21 が表示した、ネット投票の内容を受け付ける画面である。投票受付画面 41 は、利用者の人気の重視レベルが 3、騎手勝率の重視レベルが 2、人気の平均が 3 未満の場合に表示制御部 130 が生成した出走表を含む。

10

【0090】

投票受付画面 41 に含まれる出走表は、馬番、馬名、騎手名、オッズ（人気）、詳細および騎手勝率の項目を有する。オッズ（人気）の項目は、馬番、馬名、騎手名以外の項目のなかで左端に配置される。また、投票受付画面 41 に含まれる出走表は、人気の項目の値の昇順でソートされている。

【0091】

ここで、人気の重視レベルが 3 であるため、利用者は、投票をする際に馬の人気を重視している。また、人気の平均が 3 未満であるため、利用者は、人気が高い（つまり、人気の項目の値が小さい）馬に投票する傾向がある。投票受付画面 41 に含まれる出走表では、人気の項目の値が小さい順に馬の情報が配置されているため、利用者が投票したい馬の情報が見つけやすい位置に配置される。よって、表示制御部 130 は、投票受付画面 41 をユーザ端末 21 に表示させることで、利用者が投票したい馬を出走表から見つけやすくすることができる。

20

【0092】

図 15 は、投票受付画面の他の一例を示す図である。投票受付画面 42 は、表示制御部 130 の指示でユーザ端末 21 が表示した、ネット投票の内容を受け付ける画面である。投票受付画面 42 は、利用者の人気の重視レベルが 1、騎手勝率の重視レベルが 3、騎手勝率の平均が 10 以上の場合に表示制御部 130 が生成した出走表を含む。

【0093】

投票受付画面 42 に含まれる出走表は、馬番、馬名、騎手名、騎手勝率および詳細の項目を有する。騎手勝率の項目は、馬番、馬名、騎手名以外の項目のなかで左端に配置される。また、投票受付画面 42 に含まれる出走表は、騎手勝率の項目の値の降順でソートされている。

30

【0094】

ここで、騎手勝率の重視レベルが 3 であるため、利用者は、投票をする際に馬の騎手の勝率を重視している。また、騎手勝率の平均が 10 以上であるため、利用者は、騎手の勝率が高い馬に投票する傾向がある。投票受付画面 42 に含まれる出走表では、騎手の勝率の項目の値が大きい順に馬の情報が配置されているため、利用者が投票したい馬の情報が見つけやすい位置に配置される。よって、表示制御部 130 は、投票受付画面 42 をユーザ端末 21 に表示させることで、利用者が投票したい馬を出走表から見つけやすくすることができる。

40

【0095】

また、人気の重視レベルが 1 であるため、利用者は、投票をする際に馬の人気を重視していない。投票受付画面 42 に含まれる出走表では、人気の項目が表示されていない。このように、表示制御部 130 は、利用者にとって不要な情報を非表示とした投票受付画面 42 をユーザ端末 21 に表示させることで、出走表の視認性を向上させることができる。

【0096】

以上、実施の形態を例示したが、実施の形態で示した各部の構成は同様の機能を有する他のものに置換することができる。また、他の任意の構成物や工程が付加されてもよい。さらに、前述した実施の形態のうちの任意の 2 以上の構成（特徴）を組み合わせたもので

50

あってもよい。

【符号の説明】

【0097】

- 10 出走表表示装置
- 11 記憶部
- 11 a 投票履歴
- 12 処理部

10

20

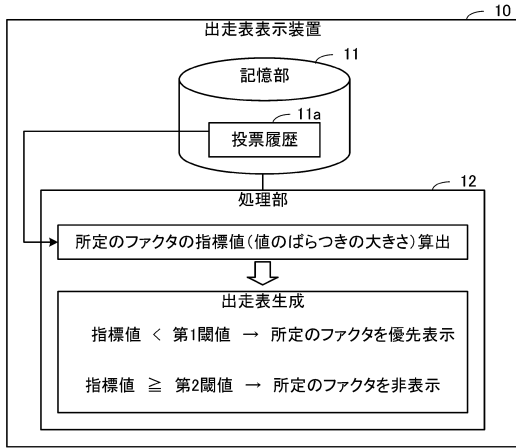
30

40

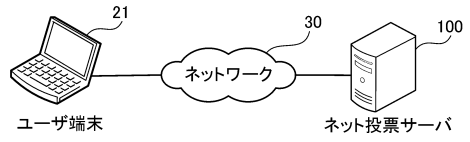
50

【図面】

【図 1】

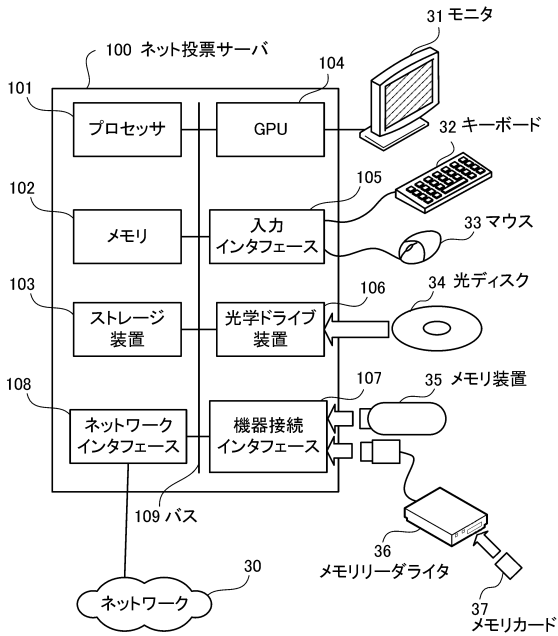


【図 2】

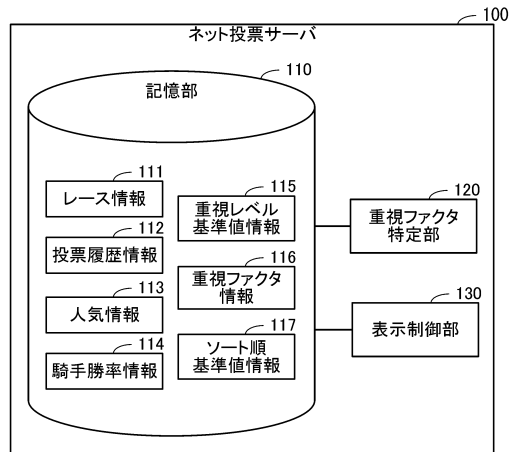


10

【図 3】



【図 4】



20

30

40

50

【図5】

111 レース情報

馬番	馬名	騎手名	オッズ (人気)	直近レース成績			騎手勝率
				前走	前々走	3走前	
1	AAA	aaa	1.4 (2)	3 xx 20.08.8 ...	1 xx 20.06.25 ...	1 yy 20.06.15 ...	9.9
2	BBB	bbb	2.5 (6)	...	...	...	3.8
3	CCC	ccc	3.4 (8)	...	...	...	2.2
...	...	...	...	...	...	...	...

【図6】

112 投票履歴情報

会員ID	日付	場名	レース	式別	組番	金額
12345678	1/8	A場	2	単勝	5	500円
	1/15	A場	2	単勝	1	300円
	2/5	A場	2	単勝	2	500円
	2/12	B場	3	単勝	3	600円
	...	...	...	...	...	...
22345678	1/15	A場	4	単勝	2	500円
	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...

10

20

【図7】

113 人気情報

会員ID	人気												平均	分散
	1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R	11R	12R		
12345678	3	2	4	1	1	3	2	1	2	2	1	2	2	0.83
22345678	1	5	3	4	3	5	7	2	6	4	4	1	3.75	3.19
32345678	15	15	16	14	16	13	16	14	15	14	16	14	14.8	0.83
42345678	1	4	3	8	2	5	9	5	1	1	4	15	4.8	15.6

【図8】

114 騎手勝率情報

会員ID	騎手勝率												平均	分散
	1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R	8R	9R	10R	11R	12R		
12345678	3.2	13.2	13.2	10.1	8.9	7.7	10.2	10.1	13.2	13.2	10.2	13.2	10.5	8.4
22345678	13.2	10.1	10.1	11.2	11.7	10.2	13.2	13.2	10.1	13.2	13.2	10.2	11.6	2.0
32345678	3.2	1.1	0	0	2	1.5	5	4.9	3.7	8.9	5.7	3.3	6.2	
42345678	9.4	18	18	9.4	18	9.4	18	9.4	18	9.4	9.4	9.4	13.0	18.0

30

40

50

【 図 9 】

115 重視レベル基準値情報

重視レベル	基準値	
	人気	騎手勝率
3	~2	~5
2	2~5	5~10
1	5~	10~

【 図 1 0 】

116 重視ファクタ情報

会員ID	重視レベル	
	人気	騎手勝率
12345678	3	2
22345678	2	3
32345678	3	2
42345678	1	1

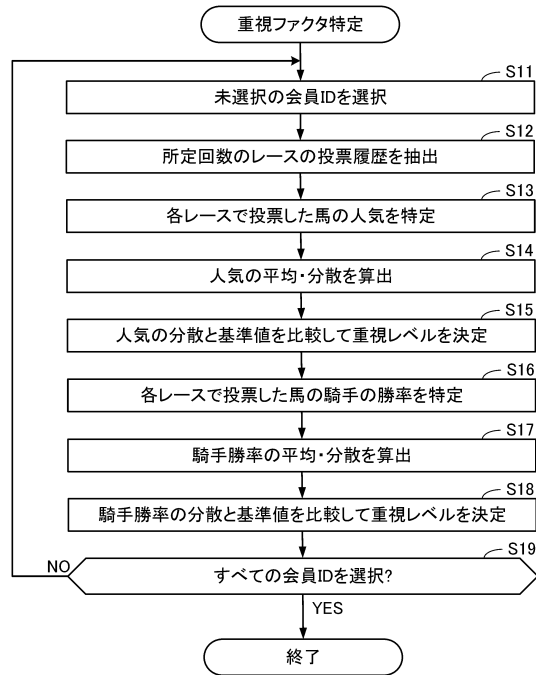
10

【 図 1 1 】

117 ソート順基準値情報

ソート順	基準値	
	人気	騎手勝率
昇順	~3	~5
ソートなし	3~8	5~10
降順	8~	10~

【 図 1 2 】



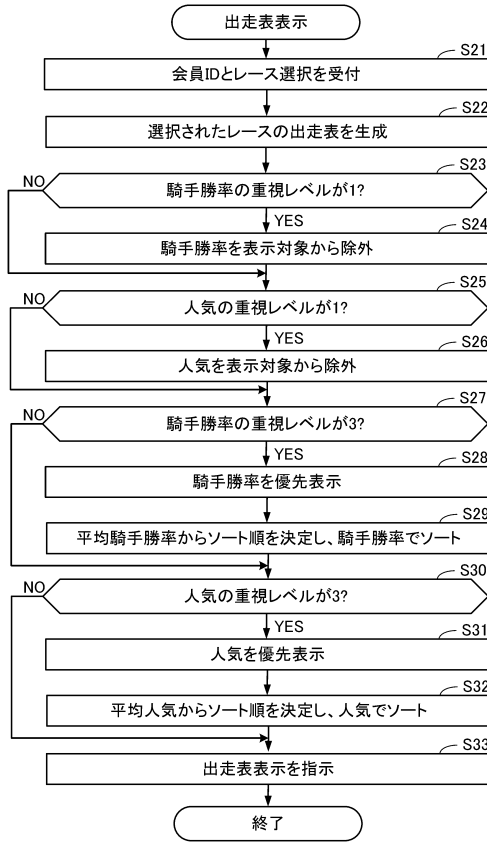
20

30

40

50

【 図 1 3 】



【 図 1 4 】

人気:lv.3  
騎手勝率:lv.2  
(平均人気3未満)

41 投票受付画面

馬番	馬名	騎手名	オッズ (人気)	詳細			騎手勝率
				前走	前々走	3走前	
4	DDD	ddd	1.2 (1)	...	...	...	10.2
1	AAA	aaa	1.4 (2)	3 xx 20.08.8 ...	1 xx 20.06.25 ...	1 yy 20.06.15 ...	9.9
6	FFF	fff	1.8 (3)	...	...	...	8.5
...	...	...	...	...	...	...	...

10

20

【 図 1 5 】

人気:lv.1  
騎手勝率:lv.3  
(平均騎手勝率10以上)

42 投票受付画面

馬番	馬名	騎手名	騎手勝率	詳細		
				前走	前々走	3走前
4	DDD	ddd	10.2	...	...	...
1	AAA	aaa	9.9	3 xx 20.08.8 ...	1 xx 20.06.25 ...	1 yy 20.06.15 ...
8	HHH	hhh	8.8	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...

30

40

50

---

フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2015-056165(JP,A)  
特開2013-137626(JP,A)  
特開2016-071752(JP,A)  
特開2020-098555(JP,A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)  
G06Q 10/00-99/00